

医療概論（1年後期）

問 1 西洋 医学と インド 医学	1	エジプト医学と偉神	パピルス書物、レー、トート&イシス イムヘテブ	
	2	パピロニア文明	ハムラビ法典	
	3	新大陸文明	幻覚性の植物を含む薬物	
	4	ギリシア文明1	コス島、ヒポクラテス	
	5	ギリシア文明2	ガレノス 血液運行の説	
	6	中世前期の医学	修道院医学(6C-12C)	
	7	イスラム医学	イブン・シーナの医学典範	
	8	中世後半の医学	サレルノの医学校 [イタリア、世界最初の医学校]	
	9	中世ヨーロッパ疫病	黒死病 = ペストの流行(1348年)	
	10	イタリアルネサンス	レオナルド・ダ・ビンチの人体解剖図	
	11	近代解剖学の創始者	アンドレアス・ヴェザリウスの「ファブリカ」	
	12	床屋外科医	アンブロワズ・パレ(フランス)の銃創の治療	
	13	17C最大発見の一つ	ウィリアム・ハーヴェーの血液循環現象の解明	
	14	顕微鏡解剖学	ロバートフックは「細胞」と名づけた	
	15	古代インド医学の総称	アーユルヴェーダ	
問 2 中国 医学	1	黄河文化圏	黄帝内経	
	2	揚子江文化圏	神農本草経	
	3	江南文化圏	傷寒雑病論	
	4	華佗 5 . 王叔和	麻沸散・五禽戯(ごきんのぎ)	5 . 「脈経」
	6	劉張学派	劉完素 = 寒涼派・信古派 張從正 = 攻下派	
		李朱学派	李杲 = 温補派・補土派(補中益気湯)、朱震亨 = 養陰派	
問 3 日本の 医学	1	日本の医神	スクナヒコナ	
	2	韓医方	金波鎮漢紀武(允恭天皇)、徳来(雄略天皇)	
	3	平安京	丹波康頼の「医心方」	
	4	鎌倉時代	栄西の喫茶養生記	
	5	僧医	叡尊、忍性の救療事業	
	6	開業医の始まり?	梶原性全の「頓医抄」	
	7	室町時代	田代三喜(古河の三喜)は後世派の開祖	
	8	安土桃山時代の医師	京都の曲直瀬道三の「啓迪院」	
	9	安土桃山時代の鍼師	御園意斎の打鍼法	
	10	安土桃山時代の盲人鍼師	杉山和一の管針法	
	11	古方派	後藤艮山の「一気滞留論」	
	12	古方派の解剖	山脇東洋の「蔵志」	
	13	蘭学	杉田玄白の「解体新書」	
	14	漢蘭折衷派	花岡青洲の麻酔薬 = 通仙散	
	15	蘭館医	出島のオランダ人、シーボルト	
問 4 医療 概論	1	医療従事者	1.看護婦 2.医師 3.薬剤師 医師・歯科医師への診療報酬費、薬局調剤費、看護費、移送費	
	2	国民医療費 需要の増大	× 正常分娩、健康診断、予防接種、義眼・義足購入費	
	3		1.人口の増大 2.高齢化 3.高度医療の要求 4.成人病増加などの変化や医療機関や医療従事者の増加、医療機械の導入	
	4	医療保険の種類	健康保険、船員保険、国家公務員、地方公務員、私立学校教職員などの共済組合、国民健康保険	
	5	医療保障	医療保険、老人保険給付、生活保護法による医療扶助	
	6	患者の権利制限	1.医療上、最適かつ適切な治療やケアを受ける権利 2.人権を尊重される権利 3.プライバシー保障の権利 4.医療上、情報・説明を受ける権利 5.それに基づいて、医療内容を選択したり、治療を拒否できる自己決定の権利 6.関係法規と病院の諸規則などを知る権利	